

第 19 表 年 齡 別、月 別 死 亡 者 数

本表は「人口動態調査」によるものである。昭和28年は人口動態統計年報の確定数で昭和29、30、31、32年は概数である。

年 月	総 数	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60歳以上	年令不詳
昭和29年	31 432	4 250	652	275	690	1 225	1 183	1 014	966	1 258	1 573	2 113	2 476	13 745	12
30	30 821	3 700	623	264	544	1 098	1 101	881	858	1 195	1 643	2 034	2 372	14 491	17
31	33 387	3 455	567	269	609	1 151	1 054	935	939	1 249	1 670	2 180	2 724	16 578	7
昭和32年	35 667	3 512	547	275	642	1 163	1 152	1 084	936	1 242	1 734	2 199	3 036	18 135	10
1月	4 178	474	47	25	51	115	100	96	97	120	198	217	290	2 348	-
2	3 152	372	51	20	53	87	97	78	73	106	128	201	268	1 617	1
3	3 403	417	46	32	45	112	85	104	78	132	153	203	312	1 682	2
4	2 864	321	47	18	52	91	95	79	82	98	137	190	228	1 425	1
5	2 692	258	46	14	47	100	83	80	75	99	158	188	255	1 289	-
6	3 030	240	43	23	71	119	102	106	101	120	135	186	265	1 519	-
7	2 456	217	38	27	48	88	100	93	61	96	122	172	213	1 179	2
8	2 471	184	76	39	68	74	96	76	65	100	135	158	202	1 197	1
9	2 444	174	44	14	54	85	89	82	56	87	140	160	220	1 238	1
10	2 652	225	36	18	43	85	100	74	83	85	138	169	236	1 360	-
11	2 944	255	31	21	52	95	86	111	74	100	128	167	264	1 559	1
12	3 381	375	42	24	58	112	119	105	91	99	162	188	283	1 722	1

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第 20 表 人 体 寄 生 虫 卵 保 有 者 数

本表は各保健所運営報告によるもので各年中の数字である。

年 次	検 査 人 員	虫 卵 保 有 者		虫卵の種別 (1人で数種の虫卵を保有する場合はそれぞれ計上した。)		
		虫卵を認めたもの	百分比	回	鞭 虫	12 指 腸 虫
昭 和 29 年	232 217	75 576	32.5	58 162	7 855	5 142
30	124 307	31 142	25.1	23 831	5 162	2 910
31	138 641	28 102	20.2	16 705	5 656	2 983
昭 和 32 年	267 456	34 953	13.0	23 091	7 264	3 862

(注) 資料 大阪府衛生部予防課。

第 24 章

司 法 及 び 警 察

## 第 24 章 司 法 及 び 警 察

### (1) 司 法

#### A. 民 事 事 件

昭和32年中に府下全裁判所に新しく提起された民事事件の総数は68,544件で、これを前年度と比較すると7,380件(11%)の増加となり、一昨年減少傾向にあったこの件数も又年を追って増勢の道をたどっている。さらにこれを裁判所別にみると、新受総数68,544件のうち高等裁判所が2,986件(4%)、地方裁判所が24,649件(36%)、簡易裁判所が40,909件(60%)となっており、受理件数を裁判所の種別に前年度と比較すると、高等裁判所が160件(6%)、地方裁判所は3,568件(17%)、簡易裁判所が3,652件(10%)といずれも増加しているが、特に地方裁判所の受理件数が29年裁判所法の一部改正で事物管轄の範囲拡張にともなう簡易裁判所の民事事件の増加から比較するとき、その受理範囲の縮小にもかかわらず、ふえているのが注目される。

次に事件の処理状況について前年と比較すると、高等裁判所では21件で(1%)に満たない増加となり、地方裁判所では2,003件(9.5%)の増加、さらに簡易裁判所では3,394件(9.2%)増となっているが、いずれも新受件数の増加数を上回っていない。しかし昨年度、簡易裁判所における処理件数の減少理由の一つにあげられていた事物管轄変更による負担増大も過去のものとなり、本年度にいたり軌道にのった処理ぶりを示しているものと考えられる。

#### B. 刑 事 事 件

刑事事件については、本年度中に全裁判所が取扱った、新受件数は415,252で、その数は民事に比べ非常に大きくこれは昭和24年新刑法施行以来の最高記録を示している。いま昭和26年を100としてみると、27年61.6、28年100.1、29年180.7、30年275.7、31年279.4、32年は331.7となり、28年以降は毎年記録を更新し、また対前年比では32年の新受は、31年の65,421(19%)増にあたり、この件数は近年取締等の強化と相まってますます増加して行く傾向にあるとみなければならない。さらに裁判所別にみると大阪高等裁判所の新受人員は2,877で31年より1,183(29%)の減少と昨年に引続いて大きく減っている。今これについて過去数年間を昭和28年を100としてみると29年97.2、30年110.1、31年91.2、32年64.6と30年を除いて著しく減少している。また地方裁判所は新受28,322で31年より3,373(11%)の減少と高裁に及ばないが同様減少を示している。しかしながら簡易裁判所の新受が69,977(22%)増を示したため、高等及び地方裁判所における減少を上廻り、結果としては総数を大きく引上げることになったわけである。またこの簡易裁判所における増加の原因は昭和29年より交通事犯の取扱いが大幅に同所に移管されたために生じたものと思われる。なお以上各裁判所における事件の処理状況は、やはり簡易裁判所の67,611(21%)増加を除いて、高等裁判所は31.8%、地方裁判所は12.6%の減少となっている。

### (2) 警 察

#### A. 刑 法 犯 の 発 生 状 況

32年中に府下で発生した刑法犯全件数は115,589件で31年の111,712件より3,877件(3%)増加している。これ

を罪種別にみると全件数のうち凶悪犯は945件で(0.0%)、窃盗犯は89,672件(78%)、智能犯は7,023件(6%)、粗暴犯は9,052件(8%)、風俗犯は212件(0.0%)、その他の刑法犯は8,685件(8%)の割合となっているが特にこのうち窃盗犯は昨年より3,808件、その他の刑法犯は906件の増加となっている。なお刑法犯の総数においては3,877件の増加となり、前年に比較すると3%の増加となり、前年同比1%の増加に比べて更にこの率の上昇していることは、社会状況の年々安定してきている現在注目すべき現象である。

#### B. 刑 法 犯 の 罪 種 別 発 生 状 況

全刑法犯をさらに罪種別にみると凶悪犯は945件で昨年の1,021件に対して76件(7%)減少となりこのうち殺人犯は197件で22件(10%)減、強盗は467件で87件(15%)減、強かんは196件で32件(19%)増、放火は85件で1件増加となっている。次に窃盗犯は罪種別の内一番大きい割合をしめてをり89,672件で昨年より3,808件(4%)増と年々増加していることは注目すべきことである。次に粗暴犯は9,052件で昨年より142件(1%)減少となりこのうち暴行が1,870件で99件(5%)増、傷害は5,590件で162件(2%)増、脅迫は171件で135件(44%)減、恐喝は1,421件で268件(15%)減となっている。次に智能犯は7,023件で昨年より558件(7%)減少となり、そのうち詐欺は4,915件で478件(8%)減、またとく職、背任、横領、偽造等も昨年より減じている、最後に風俗犯は212件で61件(22%)減少で、このうち博の60件で17件(22%)減、わいせつ物の39件で2件(4%)減、わいせつ行為の113件で42件(27%)減とともに減少しているが、強かん、暴行、傷害等の犯罪が世相を物語るように依然として増加していることは注目してよいと思われる。

#### C. 刑 法 犯 の 地 域 別 発 生 状 況

警察署別にみる刑法犯のうち凶悪犯罪発生状況をみると大阪市が多いが、このうちわけは西成署の72件を第1位に、ついで南の43、浪速、城東、阿倍野、住吉各署のそれぞれ35で、最も少ないのは大阪港水上署の1となっている。次に郡部では布施の36を筆頭とし、堺北の28、岸和田の24となり最も少ないところは泉南の1となっている。次に一般犯罪についても大阪市では南の7,503件を初とし、西成の7,416件、曾根崎の5,306件等の多数で最少の所は大阪港水上署の876件となっている。郡部では堺北の3,527件を初めとし、布施の3,213件、岸和田の1,416件と続き、最も少ないところは豊能の105件となっている。

#### D. 刑 法 犯 の 検 挙 状 況

32年中の総検挙数は70,109件で31年に比べて4,688件(7%)の増加を示しているが、これは窃盗犯およびその他の刑法犯の増加によるものである。また全検挙数に対する罪種別検挙数の割合をみると、窃盗犯の46,093件(65%)を初めとし、粗暴犯の8,731件その他の刑法犯の8,649件の各12%、智能犯の5,608件(7%)があり、凶悪犯および風俗犯は最少となっている。なお全刑法犯についての検挙率が戦後22年の40%から、その後次第に向上して、昨年の59%、32年の61%と上昇している。

第1表

大阪法務局管内登記の

本表は昭和32年中に各司法事務局及び出張所にて取扱った登記について作成したものである。このうち個数とは土地について

Table with columns for office names (e.g., 大阪支局, 法務局), total cases, individual cases, registration fees, and taxes. Includes a detailed list of offices and their respective statistics.

(注) 単位 登録税、手数料、円。資料 法務省第71登記統計年報。

第2表

検 察

本表は昭和32年中に各検察

Table showing prosecution statistics by office (e.g., 大阪支局, 法務局) with columns for total cases, old cases, new cases, and various types of charges and requests.

(注) 資料 大阪地方検察庁検務第一課。

総数及び登録税、手数料

は簿載、建物については積載、船舶については登録費用助産所等については農業用機械器具牛馬船隻等を用いる。

Table with columns for registration numbers (甲, 乙) and categories like agricultural machinery, commercial registration, and other fees. Includes a detailed breakdown of registration numbers and fees.

事 件

庁で取扱った件数である。

Table showing case statistics by office (e.g., 大阪支局, 法務局) with columns for total cases, cases not started, cases started, and cases concluded.



第6表

警察職員

本表は昭和32年12月31日

Table showing police personnel distribution by prefecture (e.g., Osaka, Kyoto, Tokushima) and rank (e.g., Inspector, Sergeant, Police Officer).

(注) 資料 大阪府警察本部「昭和32年警察統計書」。

第7表

刑法犯罪発生

本表は昭和32年中に大阪府警

Table showing the occurrence of criminal offenses by month (January to May) and category (e.g., Murder, Rape, Theft).

(注) 資料 大阪府警察本部「昭和32年警察統計書」。

配置状況

現在における数字である。

Table showing the deployment status of police personnel by prefecture (e.g., Osaka, Kyoto, Tokushima) and rank.

検挙月別状況

察本部で取扱った件数である。

Table showing the monthly status of arrests by month (June to December) and category.

第 8 表 職 業 別 年 齢 層

本表は昭和32年中に大阪府警察

別 犯 罪 少 年 数

本部で取扱った件数である。

罪 種	合 計	職 業 者										
		学 生 生 徒					有					
		小 計	小学生	中学生	高校生	大学生	小 計	工 員	事 務 員	商 業	交 通 業	
合 計	9 736	2 288	-	1 356	897	35	5 100	2 251	88	653	298	
男	9 253	2 236	-	1 316	888	32	1 899	2 189	79	636	297	
女	483	52	-	40	9	3	201	62	9	17	1	
凶 殺	小 計	462	57	-	16	39	2	253	129	7	16	4
	男	3	-	-	-	-	-	3	2	-	1	-
人 殺	男	16	-	-	-	-	-	13	5	2	1	-
	女	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
強 盗	男	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
強 盗 予 備	男	163	9	-	5	3	1	67	31	2	4	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
強 盗 予 備	男	33	-	-	-	-	-	11	5	-	1	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放 火	男	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-
強 かん	男	246	48	-	11	36	1	159	87	3	10	3
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一 般 犯	小 計	8 791	2 179	-	1 300	849	30	4 646	2 060	72	620	293
	男	480	52	-	40	9	3	1 998	60	9	16	1
窃 屋 内	男	2 564	672	-	516	154	2	1 030	564	13	95	27
	女	329	38	-	26	9	3	135	41	4	11	-
窃 屋 外	男	1 606	483	-	413	68	2	676	266	3	20	40
	女	18	1	-	1	-	-	5	1	-	1	-
盗 す り	男	106	36	-	35	1	-	24	11	-	3	-
	女	55	12	-	12	-	-	14	9	1	-	-
詐 欺	男	159	16	-	3	13	-	69	27	-	12	-
	女	22	-	-	-	-	-	6	3	-	-	-
傷 害	男	1 528	328	-	89	229	10	1 033	487	20	122	36
	女	14	-	-	-	-	-	11	4	-	-	-
恐 喝	男	510	109	-	40	69	-	238	131	2	19	2
	女	5	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-
横 領	男	137	11	-	8	3	-	74	19	-	21	4
	女	7	-	-	-	-	-	6	1	-	3	-
脅 迫	男	35	12	-	5	7	-	19	11	-	4	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
賭 博	男	11	8	-	5	2	1	3	1	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わ い せ つ	男	35	11	-	9	2	-	21	10	-	4	-
	女	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴 行	男	945	360	-	132	223	5	527	293	5	74	12
	女	3	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-
贓 物 罪	男	81	16	-	12	3	1	48	24	-	2	1
	女	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
そ の 他	男	1 074	117	-	33	75	9	884	216	29	244	171
	女	19	1	-	1	-	-	13	3	-	-	1

(注) 資料 大阪府警察本部「昭和32年警察統計書」。

職 業 者	無 職	年 令 層				措 置							
		14 歳 以上	16 歳 未 満	18 歳 未 満	20 歳 未 満	検 送 庁 庁	家 庭 裁 判 所 送 致						
農 業	70	25	484	73	7	271	880	2 348	2 238	3 430	4 068	9 709	27
水 産 業	69	25	480	41	6	247	830	2 118	2 133	3 259	3 861	9 228	25
勞 務 者	1	-	4	32	1	24	50	230	105	171	207	481	2
風 営 俗 業	4	-	26	6	-	15	46	152	46	202	214	462	-
公 務 員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	-
家 使 用 事 人	-	-	1	1	-	2	1	3	-	3	13	16	-
そ の 他	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-
無 職	3	-	9	5	-	2	10	87	14	55	94	163	-
無 職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 職	-	-	1	-	-	-	-	1	2	9	22	33	-
無 職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 職	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
無 職	1	-	14	-	-	10	31	39	29	135	82	246	-
無 職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 職	65	25	454	35	6	232	784	1 966	2 087	3 057	3 647	8 766	25
無 職	1	-	4	32	1	24	50	230	105	170	205	478	2
無 職	10	6	102	13	1	34	165	862	805	831	928	2 564	-
無 職	1	-	3	25	-	18	32	156	73	109	147	329	-
無 職	10	5	139	1	1	26	165	447	585	459	562	1 606	-
無 職	-	-	-	-	-	1	2	12	5	5	8	18	-
無 職	1	-	2	-	-	3	4	46	64	20	22	106	-
無 職	-	-	-	2	-	2	-	29	23	22	10	55	-
無 職	4	-	6	2	-	3	17	74	11	56	92	159	-
無 職	-	-	-	-	-	-	1	16	1	7	14	22	-
無 職	12	4	90	14	4	71	173	167	177	574	777	1 528	-
無 職	-	-	-	2	-	1	8	3	1	6	7	14	-
無 職	4	1	27	-	-	16	36	163	86	251	173	510	-
無 職	-	-	1	-	-	1	-	2	1	1	3	5	-
無 職	-	1	9	2	-	2	16	52	19	36	82	137	-
無 職	-	-	-	-	-	-	2	1	-	5	2	7	-
無 職	-	-	1	-	-	3	-	4	6	17	12	35	-
無 職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 職	-	-	1	-	-	-	1	-	3	2	6	4	7
無 職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 職	-	-	-	1	-	3	3	3	16	13	6	35	-
無 職	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	1	4	-
無 職	8	6	25	2	-	24	78	58	224	449	272	945	-
無 職	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	2	3	-
無 職	-	1	5	-	-	3	12	17	20	20	41	81	-
無 職	-	-	-	1	-	-	1	2	-	2	2	4	-
無 職	16	1	47	2	-	44	114	73	71	329	674	1 056	18
無 職	-	-	-	-	1	1	7	5	1	9	9	17	2

第9表 財物被害高

本表は昭和32年中に大阪府警察

罪種	合計		通貨		有価証券		貴金属	
	金額	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
総被害高	2 948 390 840	665 704 961	208 570	282 785 385	9 031	55 337 457		
検挙した被害高	1 812 262 656	537 339 860	195 894	141 525 070	5 320	24 428 024		
事件の回復高	522 485 586	36 491 555	68 116	41 622 629	2 803	14 386 104		
強盗	9 876 577	1 464 904	1 002	122 250	126	648 900		
検挙した被害高	9 958 458	2 032 356	1 007	3 129 930	122	512 400		
事件の回復高	8 290 957	337 888	6	3 079 250	113	475 900		
窃盗	1 983 752 084	175 342 246	23 144	175 226 537	8 325	50 688 657		
検挙した被害高	887 849 908	54 539 618	10 569	31 069 859	4 734	20 618 174		
事件の回復高	416 890 437	10 696 534	4 679	17 359 397	2 358	11 345 154		
恐喝	15 763 806	8 213 175	36	1 140 099	269	1 205 050		
検挙した被害高	13 013 170	5 839 436	35	1 139 849	214	1 002 350		
事件の回復高	2 389 194	31 731	17	854 480	161	788 800		
詐欺	622 219 018	335 740 318	80 085	41 479 763	249	2 470 500		
検挙した被害高	592 740 903	330 770 080	80 024	43 262 409	198	2 018 850		
事件の回復高	59 038 186	9 511 881	27 237	10 828 600	138	1 624 500		
横領	316 779 355	144 944 318	104 303	64 816 736	62	324 350		
検挙した被害高	308 700 217	144 158 370	104 259	62 923 023	52	276 250		
事件の回復高	35 876 812	15 913 521	36 177	9 500 902	33	151 750		

罪種	雑貨類		機械類		自動車	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
総被害高	106 339	45 515 740	5 254	81 418 463	594	220 796 600
検挙した被害高	64 314	33 386 878	2 011	53 070 461	328	131 597 900
事件の回復高	13 585	15 029 409	575	9 770 725	303	124 334 900
強盗	151	103 940	-	-	8	4 960 000
検挙した被害高	139	91 690	1	12 000	4	2 200 000
事件の回復高	99	81 510	1	12 000	6	3 000 000
窃盗	80 797	37 782 675	4 613	50 660 658	546	202 227 600
検挙した被害高	42 454	26 606 615	1 573	23 048 346	286	116 879 900
事件の回復高	12 246	13 849 742	534	8 589 730	273	112 559 900
恐喝	93	51 447	1	100	2	300 000
検挙した被害高	89	46 127	1	100	2	300 000
事件の回復高	47	25 207	-	-	1	150 000
詐欺	20 032	5 636 664	365	19 266 605	20	9 230 000
検挙した被害高	16 214	4 347 842	309	19 091 015	20	8 742 000
事件の回復高	383	510 230	32	632 995	15	7 005 000
横領	5 266	1 940 514	275	11 491 100	17	4 079 000
検挙した被害高	5 418	2 294 604	127	10 919 000	16	3 476 000
事件の回復高	810	562 720	8	536 000	8	1 620 000

(注) 資料 大阪府警察本部「昭和32年警察統計書」。

及び回復高

本部で取扱った件数である。

被服類		その他の織物		米穀		その他の食料	化学薬品類
数量	金額	数量	金額	数量	金額	金額	金額
94 982	349 679 201	843 637	96 794 727	41 769	2 983 881	1 124 507	20 266 413
59 990	181 880 234	750 386	68 843 224	28 838	2 058 269	2 202 540	17 422 579
29 558	83 758 381	6 458	2 745 302	3 974	287 054	78 817	1 503 953
191	932 350	-	-	4	250	-	-
177	910 330	2	80	4	250	330	-
109	553 200	-	-	4	250	30	-
77 530	323 990 514	87 669	42 068 473	34 794	2 487 151	886 866	7 706 283
43 845	158 692 847	46 457	14 990 471	21 649	1 546 058	463 283	4 381 278
19 515	71 943 596	6 079	2 452 769	3 806	275 143	78 587	841 953
138	489 000	-	-	31	2 200	-	100
131	447 240	-	-	-	-	1 077	-
85	347 100	-	-	-	-	-	-
15 080	16 912 087	65 098	15 214 358	6 835	486 825	221 438	3 541 390
13 733	14 699 982	70 784	15 031 089	7 125	507 701	1 734 010	4 027 461
9 349	8 571 950	257	196 845	104	7 401	-	-
2 043	7 355 250	690 870	39 511 896	105	7 455	16 203	9 018 640
2 104	7 129 835	633 143	38 821 584	60	4 260	3 840	9 013 840
500	2 342 535	122	95 688	60	4 260	200	662 000

自転車		その他の車両		電線		その他
数量	金額	数量	金額	数量	金額	金額
24 945	353 616 553	1 409	110 090 435	450 141	30 862 796	631 414 221
9 462	157 910 977	716	61 862 104	212 417	20 357 117	378 375 419
3 723	55 914 520	429	37 727 950	63 543	5 273 725	93 560 562
3	23 000	-	-	17	1 420	1 619 563
3	23 000	-	-	17	1 420	1 044 672
2	20 000	-	-	17	1 420	729 509
24 078	340 891 323	1 306	100 766 745	441 601	30 281 871	442 744 485
8 849	149 638 277	627	53 415 604	197 607	19 946 012	212 013 566
3 423	52 243 450	380	33 161 950	62 826	5 258 205	76 234 327
10	125 000	-	-	-	-	4 237 635
6	107 000	-	-	-	-	4 129 991
3	85 000	-	-	-	-	106 876
595	9 186 530	63	6 173 000	6 930	203 897	156 455 643
401	5 867 400	54	5 063 000	4 200	136 077	137 441 987
171	2 466 970	34	3 063 000	600	13 500	14 605 314
259	3 390 700	40	3 150 690	1 593	375 608	26 356 895
203	2 275 300	35	3 383 500	10 593	275 608	23 745 203
124	1 099 100	15	1 503 000	100	600	1 884 536

第 11 表 自 殺

本表は昭和32年中に大阪府警察本部で取扱った件数である。

所 為	因 由
総 数	総 数
既遂 男女 1 451 未遂 男女 1 454 668	既遂 男女 1 451 未遂 男女 1 454 668
く び れ て	病 苦 に て
既遂 男女 252 未遂 男女 93	既遂 男女 126 未遂 男女 103
入 水 し て	貧 困 に よ り
既遂 男女 151 未遂 男女 76	既遂 男女 39 未遂 男女 39
刃 物 に て	前非をくいまたは慚愧により
既遂 男女 5 未遂 男女 2	既遂 男女 25 未遂 男女 3
銃または火薬にて	家庭または親族の不和により
既遂 男女 - 未遂 男女 -	既遂 男女 48 未遂 男女 14
毒物または劇薬にて	将来のことを苦慮して
既遂 男女 743 未遂 男女 282	既遂 男女 124 未遂 男女 58
鉄道または軌道にて	業務の失敗により
既遂 男女 122 未遂 男女 32	既遂 男女 175 未遂 男女 77
高所より飛降りて	私通または妊娠を憂えて
既遂 男女 16 未遂 男女 3	既遂 男女 16 未遂 男女 12
ガ ス に て	失 恋 に よ り
既遂 男女 100 未遂 男女 63	既遂 男女 81 未遂 男女 46
そ の 他	淫 遊 放 蕩 の 末
既遂 男女 62 未遂 男女 21	既遂 男女 16 未遂 男女 1
	厭 世 に よ り
	既遂 男女 328 未遂 男女 114
	学 業 の 失 敗 に よ り
	既遂 男女 408 未遂 男女 143
	競 輪 競 馬 等 に こ り
	既遂 男女 9 未遂 男女 2
	精 神 錯 乱 し て
	既遂 男女 16 未遂 男女 4
	そ の 他
	既遂 男女 4 未遂 男女 2
	既遂 男女 91 未遂 男女 46
	既遂 男女 17 未遂 男女 274
	既遂 男女 80 未遂 男女 156
	既遂 男女 70

第 25 章  
災 害 及 び 事 故

(注) 資料 大阪府警察本部「昭和32年警察統計書」。